

第 6 回 各務原市学校建替基本方針策定委員会 議事録

日 時 令和 5 年 6 月 30 日（金） 13 時 30 分～15 時 30 分
 場 所 産業文化センター2 階 第 3 会議室
 出席委員 鈴木賢一委員長、服部吉彦副委員長、阿部雄介委員、奥村美樹恵委員、
 佐藤幹彦委員、篠田勲委員、熊崎健二委員、尾関加奈子委員、杉山幹治委員
 欠席委員 福島茂委員
 議 題 報告 児童・保護者ワークショップについて
 議題 1 学校給食調理場について
 議題 2 中間報告書（案）について

議事録

1. 開会宣言

2. 議題

報告 児童・保護者ワークショップについて

事務局	資料説明 報告 児童・保護者ワークショップについて 議題 1 学校給食調理場について 議題 2 中間報告書（案）について
委員長	本日は、報告 1 件、議題 2 件がある。参加者は 10 名中 9 名の参加のため、委員会は成立している。委員の皆様には、6 月に実施されたワークショップ、学校給食調理場、中間報告書案についてご意見を頂きたい。まずは、ワークショップの報告からお願いしたい。
事務局	（ワークショップの報告）
委員長	報告を受けてご意見を頂きたい。
委員	那加中学校はビオトープが設置されているが、他の学校ではビオトープはあるのか。意見を聞いていると、自然観察などへの意見もあったが、どのような状況か。
委員	ビオトープの設置状況は、20 年前ごろから市内の複数の学校に設置されたが、現在はなくしている学校も多い。
委員	那加中でも一時期放置されていたが、ここ数年で、地域の方が頑張っておられ、復活している。ホテルなども見られ、よい場所となっている。埋め立てなどの意見もあったが、地域の方との協働で管理されている。
委員	稲西小にもまだある。那加中では、つゆ草の会などが活動されている。学校で独自の動きをするのは難しく、地域の方との連携が不可欠になると思う。
委員	つゆ草の会には、NPO 法人の方も入っており、力を入れて活動されている。

委員	ビオトープに限らず、自然を感じる場所はあるのか。
委員	学校ごとによるが、敷地から枝が出ていたり、突風により枝が折れるなどもあり、地域の方からの苦情も多く課題はある。地域の方が一緒になって管理される場合はよいと思う。
委員長	飼育小屋はないのか。
委員	鳥インフルエンザ以降、生き物は飼育していない場合が多いように思う。
委員	那加第二小学校では、ウサギを飼育している。
委員	生き物の飼育は、本来だったら教育の一つと思うが、課題もあるということか。
委員	夏休み期間中の飼育が課題の一つである。登校だけでも熱中症の危険があり、同様の理由で夏休みのプールがなくなっている。自分の朝顔などは自分で育てたりしているケースもあるが、それだけで登校するということは控えるケースが多い。
委員長	教室の中について意見を伺いたい。
委員	ホワイトボードより黒板がいいという利点はあるのか。なぜずっと黒板なのか。
委員	コンピューター室などではホワイトボードを使っている。黒板があるので黒板を使っている。とりわけ子どもにとってのメリットがあるというわけではないと思う。
委員	昨今では、チョークも改良されて粉が少なく、手が荒れないなどの工夫がなされている。ホワイトボードでも消せば粉はでる。どちらが書きやすいかという、慣れている黒板の方が書きやすいという意見も多い。コンピューター室などは細かなものが出てはいけなないので、ホワイトボードとなっている。
委員	新しくするととなるとホワイトボードか。
委員	そうなると思う。
委員長	黒板かホワイトボードかという議論もあるが、固定式か移動式かといった意見はあるのか。
委員	移動式は書きにくいですが、グループ学習の際には有効となる。
委員	学校によってはグループ会議用の適度な大きさのホワイトボードがあり、模造紙の代わりに利用しているところもある。
委員	黒板も上下になるようになっている教室もある。使い勝手については黒板の方が良い。
委員長	児童生徒の持ち物について意見を伺いたい。
委員	教科書は置きっぱなしということか。

委員	教科による。宿題などで持って帰る必要がなく、週に1回程度の授業の場合は、置いている場合がある。
委員	ランドセルの重さもあるので、置き勉を許している学校はある。
委員	ランドセルが大きくなったということを聞いているが、ロッカーなどが変わらないとすれば、ロッカーの収納スペースは小さくなっているのか。
委員	学校によって様々だが、ランドセルの大きさの影響で使い勝手が悪い、スペースが小さいという意見はあまり聞かない。
委員	教科書が大きくなっているので、ランドセルも大きくはなっている。
委員長	体育の時は一日中体育の服装でいるようだが、着替えるということもあるのか。
委員	今のこの時期では、帰るときには汗で全身が濡れてしまう子どももいるので、着替えることもある。学校の状況によって違いはあると思う。
委員	学校によっては着替えているところもあるが、着替えるには時間を要するとともに、一日の時間割が決まっているなどの学校事情もあり、家から体育の服をきているという状況はあるのではないかと思う。
委員	中学校は制服の場合と体操着の場合とあると思うが、どうか。
委員	蘇原中では、登下校時は制服を指定しているが、その日の授業に体育がある場合は学校で着替えてもよい。学校によっては、授業は制服で受けて、体育の授業の時だけ着替えるという学校もある。着替える場所が確保できれば、着替えることもできる。蘇原中のような大規模校は、更衣室が確保できないという現状がある。
委員	小学校の場合でも着替える場所がないので、体操服で通学して帰ってくる場合もある。
委員	小学校は、授業と授業の間が5分しかなく、着替える場所まで行って、着替えてとなると時間的にも厳しい。
委員長	時間と場所の関係から、体育の日は通学の際から体操着という対応となっているようだ。対応しようとする、単純に着替える場所を確保するというよりは、運用でなんとかしなければならないのかもしれない。プールや体育館に小さな更衣室が併設されているのはあるが、着替え用の場所を持っている学校は記憶にない。 こうした子ども視点からの意見も中間報告にも反映してもらいたい。その他は良かったか。
委員	施設や自然は、ハードだけの問題ではなく、校長先生や教頭先生が草刈りしたりしているという状況もあり、地域の方に積極的に協力いただかないと難しい。ハード面だけでなく、管理運用を含めたソフトの問題として考えることが必要に思う。

委員長	<p>本会は、主にハード面からの審議をする場で、ソフトの面について踏み込んで審議することが難しいものの、地域の力を借りて、ということを考えていかざるを得ないと思う。積極的にボランティアとして活動いただき、遊具やビオトープ等の管理なども盛んにおこなわれるとよいと思う。</p> <p>ワークショップの様子が新聞にも取り上げていただいたようで、こうした動きを紹介するのは良いと思う。</p> <p>次は、議題に移っていきたい。事務局から説明をお願いしたい。</p>
-----	--

議題1 学校給食調理場について

事務局	(学校給食調理場について 資料説明)
委員長	説明を受けてご意見を頂きたい。
委員	感想となるが、多治見市のセンター、食育としてイベントを実施したりできる。給食を残す生徒も増えている中で強制的に食べさせることもできない。その素材が給食の献立に入っている理由などを知る機会があるのは良いと思う。
委員	前回自校調理方式でしか食育ができないという話だったが、事例によるとセンター方式でもできている。また、センター方式は温度管理が難しいという話があったが、説明を聞く限りではできているように感じる。合理的な判断をしていきたい。
委員長	食育の機会というのは現状どういったものか。家庭科のような授業で食育を実施しているということか。
委員	家庭科以外でも食育というものはあり、学年に応じて必要になる。那加第二小学校は単独調理校なので、担当の栄養教諭が各学級を回って、授業として食育をやってもらったりする。
委員	給食の時間そのものが学習の場となっている。
委員長	衛生基準が厳しくなってきたり、かなり徹底した衛生食品工場のようなものとなっており、自校方式ではその管理が難しくなっている。アレルギー体質の子どもが増えているという話もよく耳にする。
委員	本委員会では、センター方式か自校調理方式としていくのかの方向性を定める必要はないのか。
委員長	前回、センター方式としていくとしたが、この場で改めて決めたい。意見を伺いたい。
委員	センター方式は災害時の炊き出しにも対応できるので、地域が安心できるという点でも良いと感じる。
委員長	その他に意見がなければ、学校給食調理場は集約化の方向性をお示しするというにすることがよいか。
委員	(一同賛成)

議題2 中間報告書(案)について

委員長	中間報告書案の説明をお願いしたい
事務局	(中間報告書案について 資料説明)
委員	1-9(4)管理計画については、改定であれば令和4年3月に改訂されているので、他の計画の記載方法と合わせてもらいたい。
委員	3-9、国の補助が出る最低基準等があると思うが、こうしたことは考慮された書き方となっているか。 教室の面積やオープンスペースの幅について等、具体的な数値を含めた断定的な表現となっている部分がある。各種関連法との関係もあるので、表現の仕方を工夫した方がよいと思う。
事務局	語尾については、修正をしていきたい。文科省の補助の有無については、部屋のサイズなど、具体的な数値は関わってこないと認識している。
委員	中間報告の内容をすべて実施できれば良いと思うが、予算との関係もあると思うので、優先順位などを考えても良いと思う。
事務局	基準等はないが、他都市の事例を見ると、従来の普通教室については課題が多く、優先的に考えているようだ。次いで、普通教室とのつながりもあるので普通教室等の整備の条件も踏まえてオープンスペースを考えているところが多い。学習するという環境であることを前提とした上で、各学校における優先順位というものを考えていかなければならない。
委員長	優先順位が欲しいという意見はよくわかる。 すべて更地に新築する場合は良いが、部分的に改築するという場合はどうなるのか。今回の作業に含まれるのかはわからないが、市内の小中学校を大まかに分類すると3つ位になり、こうしたケースの場合は、こう、という方針ができるとよい。
事務局	地域によっても状況が違うので、今回の基本方針は総括的になると思う。個別の学校の建替を検討するための大前提としてとらえていただければと考えている。
委員長	2-3の社会環境の変化については、2章の各務原の課題の中で、書くべきか。現在書かれていることは、全国的な傾向であり、もっと前段で整理しても良いのではないか。代わりに、各務原市の課題をこの部分にのせても良いと思う。
事務局	修正の上、示していきたい。
委員長	第3章に方針があって、(1)～(13)を並べていただいているが、この並びでよいか。新しい時代の学びを実現する学校施設の5つの姿の視点のくくりで順番に並べてもらっても良いように思うがいかがか。

事務局	5つの切り口で整理することを検討してみたい。
委員長	(1) は学びのところで出てくる、特別教室もそうだと思う。第1章1の(4)で5つの視点で検討すると宣言しているので、これに準じて整理された方が良い。
事務局	たしかに、途中から5つの視点が出てきていないので、この視点で整理した方がわかりやすいと思う。検討する。
委員長	小学校と中学校では視点も違うと思うので、別出しで書くべきこともあると思う。すべてやるのは難しいと思うが、特に重視する点などは整理しても良い。
事務局	5つの視点ごとに小学校、中学校の視点で留意点などをまとめることも良いと思う。
委員長	教室のサイズなども小中では考え方が違うように思う。体のサイズまで反映するのは研究しないとできないと思うので、そこまではできないが、数字を出す場合は、何が根拠となっているのか、その考え方をきっちりと整理しておく方が良い。教室の広さも、机のサイズからきていると思うが、学級の定員が減ったら、この教室サイズも変わるので、考え方を整理しておいた方が良い。
委員	3-13の基本方針内は、学校図書館となっているが、アンケートなどでは図書室としており、統一するなど整理した方が良い。 3-23の学校給食調理場について、1-9の総合管理計画との関係もあるが、給食センターのことが書いてあり、単独校からセンター施設とする文言もある。中間報告では、給食センターに移行しつつと書いているところまでは良いが、以下は、「現在の状況」について参考として掲載しておくという整理の方が良い。基本方針としては、センターにしていくということが前提であると思う。
事務局	確認の上、訂正する。
委員長	中間報告は、この委員会で確認するだけで、どこかに開示するものではないのか。
事務局	本日の意見を踏まえ、中間報告としてまとめたものになるので、庁内等には経過説明をしていかないといけないと考えている。
委員長	行政内部でチェックも入るといふことか。
事務局	その通りである。
委員長	特にご意見がなければ、本日の意見を踏まえて事務局として修正を検討していただきたい。次回は各務原らしさ、安心安全な教育環境、アンケート調査についてということをお願いする。

4. 今後のスケジュール（予定）

次回は、8月25日13:30～を予定している。